



[2017.3.18発行 編集担当:森田 耕太郎]

NPO 法人 Arts Planet Plan from IGA もこの今月末で、創設15年が過ぎることになります。設立時から比べると、法人を取り巻く環境が変化し、岐路に立っています。法人のミッションを会員一人一人がご自身の問題としてお考えの上、今後の参加形態を皆さん方でお考え頂きたいと存じます。5月の総会へのご出席をお待ちしています。

第3回実技講習会「木工/チョークボード制作&工房見学」の報告

第3回実技講習会は、1月21日(土)10:00から、本法人会員の岡さつき氏が代表をされている合同会社スマイルウッド笠部のおうち及び、同じく会員の吉田大作氏が代表をされているアトリエ saku を会場に、それぞれのアトリエ見学を兼ねて開催しました。参加者は会員6名、一般1名の計7名でした。初めに、岡氏のアトリエに集合し概要説明ののち、吉田氏のアトリエに移り本日の制作説明と材料の大きさ決め。パネルソーを使っての切断や黒板塗料の塗布までを行いました。その後、岡氏のアトリエに再移動し、イーゼル部分の墨入れ、ミルク塗料での塗装、電動ドリルでの下穴開けと、膠(ニカワ)と細ネジ(ネジ)による接合。乾燥後、砥草(トクサ)で研磨。最後に蝶番と紐を付けて完成しました。日頃使う機会の殆ど無いパネルソー等の大型機械の使用、膠や砥草の利用は貴重な体験でした。ご参加頂いた皆さんは満足げな様子で帰路に着られました。講師のお二人には準備から片付けまで、大変お疲れ様でした。そして本当に有難うございました。(第3回実技講習会担当: 森田 耕太郎)



パネルソーの取り扱いを説明する吉田講師



塗装の説明をする岡講師



完成作品と共にご満悦

2016年度の主な活動記録

- 4月17日粘土カフェ&庵プロジェクト例会
- 5月21日2016年度 総会
- 22日粘土カフェ例会、風と土のふれあい芸術祭 会場下見会
- 28日アトリエニュース56号発行、サテライト会場下見会
- 6月18日庵プロジェクト例会
- 19日粘土カフェ例会
- 7月16日第1回実技講習会 デジリドゥ
- 17日粘土カフェ例会(～18日)
- 24日風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀 説明会
- 8月11日風と土のふれあい芸術祭 プレイベント 崇廣堂(～14日)
- 11日粘土カフェ&庵プロジェクト夏合宿(～14日)
- 22日第2回実技講習会 染織/草木染め&工房見学
- 9月10日アトリエニュース57号発行
- 18日風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀2016開催(～25日)
- 10月16日穴窯作品持込
- 23日庵プロジェクト例会
- 11月19日穴窯作品持込、庵プロジェクト例会
- 20日いがぶらWS開催、庵プロジェクト例会
- 12月3日研修旅行 岡山県備前・西粟倉・奈義方面(～4日)
- 11日穴窯窯詰
- 17日穴窯窯詰(～18日)
- 18日庵プロジェクト例会、アトリエニュース58号発行
- 21日穴窯焼成(～26日)
- 1月21日第3回実技講習会 木工/チョークボード&工房見学
- 22日穴窯窯出
- 2月19日粘土カフェ&庵プロジェクト例会
- 3月18日第4回実技講習会 レザークラフト、アトリエニュース59号発行
- 19日粘土カフェ&庵プロジェクト例会 …他 以上

(記事担当: 石津 勝)

次回「風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀2017」について

2月18日(土)に風と土のふれあい芸術祭in伊賀の実行委員会事務局会議を本法人事務所で開催しました。実行委員会事務局長の澤田さんから住民自治協議会の状況等について、これまでの経過報告がありました。2016の風土祭終了後の総括会議以来、今回の実行委員会事務局会議まで、間が空きましたが、地元の方々のご意向も受け、2017の風土祭は11月に開催することになりました。例年開催の9月から11月に移行しますので、毎年ご参加頂いている皆様や新たにご参加をご検討頂いている方々は、11月の積りでご準備をお願いします。次回、3月19日(日)に本年2回目の実行委員会事務局会議を開催し、具体的な日程を決めたうえ、募集要項を作成し、5月以降に公開することになる予定です。今年も奮ってご参加ください。お待ちしております。(実行委員会: 森田 耕太郎)

今年度の自主活動「粘土カフェ&庵プロジェクト」の報告

今年度の「粘土カフェ」の活動は、4月～11月まで、不足分の薪割り・窯の扉の修繕・作陶会・作品の持ち込みなどの準備を通算11日行い、参加者はのべ74名、続いて12月に行った<窯詰め>は、あぶりを含めて6日、参加者はのべ29名、夜通し100時間の<窯焚き>は片づけも含めて6日、参加者はのべ74名でした。窯の温度は予定通り上昇し、1250℃前後の温度帯を維持、活気に満ちた窯焚きとなりました。明けて1月22日、参加者11名で<窯出し>を行いました。強還元焼成による薪窯ならではの窯変が見られ、すご～い！いいやん！と歓声が上がりました。2月19日には、参加者6名で、棚板の磨きなどの片づけを済ませています。これら一連の活動日は合計25日、のべ194名の法人会員や一般参加者が集まり、力を合わせ、第8回「穴窯焼成」は、怪我もなく無事に終了することができました。ありがとうございました。

3月19日には、伊賀市阿山方面の見学会と会食を予定しています。また、次年度夏には、伊賀市の街中での「穴窯作品展」を計画中、活動の紹介をしたいと思っています。第9回「穴窯焼成」に向けての話し合いも進めていきます。
(粘土カフェ：田上早百合)



今年度の庵プロジェクトの活動は、4月から基礎部に自然石を配置すること（左写真）から始まり、延べ11日間で先月の土台づくり（右写真）まで進みました。会員の吉田氏、学生の木林君をはじめとした方々の協力の下、「無計画の建築」という贅沢で創造的な活動ができました。皆が集える庵を早くつくらないといけない焦りは十分あるのですが…。これからスピードアップして行きます。どなたでも参加大歓迎です。
(庵プロジェクト：石津 勝)



本法人の存続について

先日、会員の皆様に本法人の今後に関する「緊急アンケート」を送付いたしました。その結果の概要は、返信29通(会員の約半数)、そのうち継続4通、解散2通、事務局に一任18通、わからない1通、その他4通でした。

継続支持の内容としては、継続する方向をもっと模索する、会費をあげる、事務局業務を輪番制などで分担する、フリーマーケットなどで財源を確保する、地元ギャラリーでの展示販売を行う…などでした。また解散支持の内容としては、財源がない、人材がない、無理に続ける必要もない、協力することができないため、一部の人のみが忙しい…などでした。その他の内容としては、事務局に一任の方向3通、解散の方向1通でした。

アンケートのお願いでもお伝えしましたが、今年で16年目を迎える本法人は、実技講習会、研修旅行の開催、会員向けアトリエニュースの季刊発行、HPでの情報発信等を重ね、「風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀」の運営参画をはじめとして、伊賀地域では地元住民組織や行政、文化関連団体への一定の認知と存在感を示しています。

しかしながら、法人活動の継続について大きな岐路に立っています。人的な問題として、事務局員の拡充、特に一番負担の多い事務局長の役割負担の方策が未解決であり、経済的な問題として、施設の維持管理費用を含む一定程度の事務所使用料や光熱費等の負担など、会費増額も視野に入れた方策も未決定です。

あくまで私個人の意見ですが、ここ何年も、事務局員を中心とした少人数の活動を、その他の多くの会員が会費をはじめとした経済的および精神的にサポートしているような状況は、そのままいいのでしょうか？これからの具体的な目的や役割は何でしょうか？今一度、岐路に立っている法人の行く末を会員みんなで決めませんか？総会において委任状に頼らず、多くの方が集まり直接意見を交わすことが、健全な団体運営だと考えています。
(副代表理事：石津 勝)

本NPO法人の設立の原点に立ち返って、今後も活動するか否かを全ての会員で考える必要があると思います。本法人の定款に書かれている活動の大きな目的は「芸術文化の普及と振興を伊賀の地から発信する」ことにあります。実際に運営に参加して目的達成のために主体的に実践する。或は、遠方や体調等の理由等で直接参加が困難な場合は、会費納入という形で目的達成のため財政的支援を行う、などが考えられます。現在は実際の運営参加が減っています。会費の未納や滞納も多々あるのが現状です。また、何らかのサービスを受けられるような受益者の立場と誤解されている会員の方も見受けられます。本来の目的に沿った参加の意思確認が必要と考えています。今後も活動を継続する際は、定款の趣旨に沿った活動に力点を入れ、伊賀の地域住民との交流や地元への発信も積極的に行う必要があると思います。無論、芸術を通じた都市と農山村との交流や「ものづくり、まちづくり、ひとづくり」も継続して行うことも大切だと考えています。本来の意味で、伊賀から波及的に世界に発信していく姿勢が会員全てに求められているのではないかと思います。5月の総会で多数の皆様方との意見交換ができれば、展望が開けるかもしれません。
(代表理事：森田 耕太郎)

事務局からのお願い

◎ 本法人は皆様方からご納入いただきました会費で運営されております。常々、ご協力ありがとうございます。

未納の方は、早めの納入にご協力をお願いいたします。

[郵便局] ゆうちょ口座：00890-1-106346 NPO アーツ プラネット プラン フローム イガ

[他行～] ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900 店番 089 店名 ○八九店(ゼロハチキュウ店)

当座 0106346 アーツプラネットプランフロームイガ